

【改めて“ヒト”と“組織”を考えるシリーズ14】

仕事が“楽しく”なるほど学ばせているか？

難しい人間関係の基本的な部分を見るための『まねじめんと』

【仕事を覚える人ほど定着する？】

必ずしも、統計がとれる内容ではないのですが、様々なビジネス現場で、『仕事を“よく”覚える人ほど定着しやすい』という報告を受けることが少なくありません。

もちろん“定着の意志”があるから仕事を覚えるという側面もあるのだと思います。しかし、それだけでは説明がつかない部分もあるのです。

【仕事を覚える人ほど楽しそうで成果も出す】

たとえば“仕事を覚える”人は、比較的楽しそうに、あるいは元気に業務に取り組む傾向があるからです。

逆に『なぜこんな作業をさせられるのか』という不理解の中で働く人は、しばしばストレスをため込んで、元気がないのです。もちろん成果も、なかなか出しません。

【実際に調べてみると…】

そんな中、今や“アルバイト・レベルにまで日当が下がった”とさえ言われる“建設現場”で、実態を調べたケースがあります。そして、そこでも『仕事が面白い』と言うのは、たくさん“教えてもらった”従業員だったのです。

【知りたいという欲求は非常に強い】

それぞれ“レベル”は違うのかも知れませんが、私たちの“もっと知りたい”、“少しずつ賢くなる自分を意識していきたい”とする欲求は、想像以上に強いのかも知れません。

そのため、その“知りたい欲求”を満たしてくれる仕事に、満足しやすいとも言えるのです。

【その“欲求”を空回りさせてしまう現状】

その欲求は、以前なら『親方の仕事ぶりに感銘を受けて、知るために必死に観察する』という従業員の姿勢につながっていたかも知れません。

しかし、業務が複雑化、あるいは分業化した昨今では『見ただけでは分からない』ことが増え、そのため『教えてもらわないと何を学ばばよいかさえ分からない』状況が増えているのです。

『俺の背中を見て育て』とは言えなくなった事情がここにあります。

【レポートを定期購読しませんか？】

そんな事情の中で、従業員をどう育成し、指導するかについてまとめた“経営レポート”をご用意しました。定期購読（有料）希望者にはレポートを毎月お送りしますので、ご一報ください。

現場の“技能”や“やる気”が、そのまま“業績”に反映してしまいがちな今日の“競争社会”では、社内の人材強化は不可避の課題になってきています。

ただ、仕事の内容が複雑化する昨今、まずは“教える”努力をしなければ、なかなか人材は育ちません。しかも、この“教える”こと自体が案外難しく、そこに今日的課題がありそうなのです。



少数精鋭でビジネスに取り組む皆様に、現代的な“人”マネジメントの視点から、重要なニュースやノウハウをお届けする月例『経営さぷりめんとニュース』にご意見やご感想をお寄せください！

行政書士・社会保険労務士へんみ事務所

TEL : 022-292-2351

FAX : 022-292-2352

URL : <http://www.henmi-adm.jp/>

わたくしたちは、“ヒト”に関する重要課題の提言を通じて、皆様方の経営をご支援申し上げます！